



浅間山



可児市立東可児中学校
令和7年4月7日発行

期待が膨らむ令和7年度

校長 堀田 誠

令和7年度がスタートしました。4月3日に新2、3年生の生徒が春休みの時間を割いて、入学式・始業式の準備をしていただきました。本当に頼もしい限りです。元気な挨拶、明るい笑顔、切り替えができる心、一生懸命準備を行う姿など、素晴らしい姿や心をもった生徒と出会うことができました。本当にありがとうございました。令和7年度のよいスタートがきれました。期待が膨らむ一日でした。



校門の桜が美しいです

さて、私事で申し訳ありませんが、30年ぶりに東可児中学校に赴任することとなりました。早速、かつての教え子のお子さんから「お母さんのこと覚えていますか？」と話しかけられました。部活動に明け暮れていた当時の教え子で、身長は高くなく細身の体で、フィジカルが求められるバスケットボールという競技には、どちらかと言うと向いていない子でした。しかし、持ち味の足の速さとメンタルの強さでキャプテンにまでなりました。私はその子が3年生時に蘇南中へ異動したため、ライバル校に勤めていましたが、密かに応援していました。中体連の可児市郡大会では、東可児中が見事優勝しました。その試合の下馬評では、相手校の方が有利とみられていましたが、粘り強く戦い接戦にもちこみました。そして、残り1秒ぐらいで東可児中がゴールを決め、逆転しました。劇的な勝利だったことを覚えています。新人戦、春の大会では勝つことができず、「東可児中学校は弱くなったね」とささやかれていましたが、キャプテンとして意地をみせた試合でした。そんな教え子が立派な母親となり、素敵なお子さんを育てていることに、年月の深さを感じました。縁あって再開できることを楽しみにするとともに、東可児中学校には何かしらの恩返しができるかと思っています。

東可児中学校では、生徒一人一人の未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育むため、学校の教育目標でつける力を明確にして、取り組んでいきます。

東可児中学校の教育目標「自律 共生 創造」

- 自律（力・心）…自ら考え、決定し、行動する（力・心）
- 共生（力・心）…多様性を尊重し、対話を通して協働する（力・心）
- 創造（力・心）…しなやかな発想で可能性を拓ける（力・心）

今年度も、東可児中学校を支えていただいてみえる保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。